

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう			
取組分野	1	子育て支援			
施策主管部局	こども未来部				
担当課	こども政策課	保育課		こども相談課	

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
子育て支援に関する取り組みの市民満足度	86.9%	88%	88.2%	88%	88%	88%	87%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) みよし市版「ネウボウ」の推進

昨年度実施結果	課題
母子支援事業を実施し、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を進めた。 子育て応援アプリの導入及び伴走型相談支援により、妊産婦や子育て世帯の孤立感の予防を図りました。	核家族化や支援者の不在、家庭環境等から子育て世帯を取り巻く環境は複雑化している。令和7年度より拡大した産前産後支援事業を活用し、子育て世帯の孤立感・不安感軽減を継続する。

(2) 保育環境の整備

昨年度実施結果	課題
乳児枠の需要増に対応するため、幼児室の一部を乳児室にするなど乳児枠の定員増を図るとともに、城山保育園移転新築事業を着実に進めることで隠れ待機児童解消に向けた取組を実施しました。	こどもの数の減少に伴う3歳児から5歳児までの幼児数の減少と共働き世帯の増加に伴う0歳児から2歳児までの乳児枠の保育需要増に対して、施設の利用用途を効果的に変更する必要がある。

(3) 子育て支援センター事業の充実

昨年度実施結果	課題
親子ふれあいルーム等の開催により、育児情報の提供に加え、親子同士の出会いの場を提供した。また、父親の育児参加を促すため「お父さんと遊ぼう」など父親が参加しやすいイベントを開催した。	育児に関する悩み事等が多様化する中、子育て支援センターなど保護者に身近な機関において育児相談等を受けるに当たって、他機関との連携を強化した地域子育て相談機関の設置が求められている。

(4) 相談支援体制の充実

昨年度実施結果	課題
全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う「みよし市こども家庭センター」を設置した。	核家族化など家族形態の変化に伴い、困ったときに相談できる家族が少ない家庭が多くなってきている。保護者の不安や困りごとを解消するため、相談窓口を周知する。

(5) 幼児教育の充実

昨年度実施結果	課題
市内私立幼稚園に対して教育振興費を支給することで園の安定運営に寄与するとともに、市内在住児童に対して給食費無償化事業として給食費相当額を支給することで保護者の経済的負担を軽減した。	こどもの出生数の減少に伴う幼児数の減少や共働き世帯の増加等に伴う保育需要の増加により、幼稚園の安定的運営を継続するための園児数確保が難しくなっている。

(6) 児童発達支援体制の充実

昨年度実施結果	課題
心身の発達に支援が必要なこどもたちやその保護者に対して、親子通園ルーム「ふたば」や児童発達支援事業所「よつば」において支援を行いました。	発達上の支援を必要とするこどもの増加等に伴い、当該こどもやその家族への包括的な支援の充実を図る必要があるため、児童発達支援センターの設置・整備が求められている。

(7) 保育士確保策の充実

昨年度実施結果	課題
保育園の安定運営のため、新たな保育士人材の確保や離職者の復職促進等のため、公立・私立の共催による合同就職説明会を開催し、保育学生や復職希望者に園の説明や見学・給食体験を実施した。	各大学・専門学校において保育学生の減少が問題となっている。このため、高校生をはじめ小中学生にも保育体験を実施し、保育士を目指そうと思うこどもたちを増やす取組が求められている。

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	子育て支援に関する取り組みの市民満足度がさらに高まるよう、各種の子育て支援策を着実に取り組んでいく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち		
取組方針	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう		
取組分野	2	家庭教育		
施策主管部局	教育部			
担当課	学校教育課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
家庭教育に関する取り組みの市民満足度割合	80.7%	83%	80.9%	82.5%	84%	85.5%	87%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 保護者への学び支援

昨年度実施結果	課題
ふれあいトライアングル推進事業を、市内8小学校区で実施し、家庭教育学級では、保護者に対し家庭教育の学習機会を提供した。	家庭教育学級を実施する各校からは、「参加者を広く募っても参加してくれる人が少ない。」等の意見もあり、実施要領を検討する必要がある。

(2) 教育相談体制の整備

昨年度実施結果	課題
教育センター学びの森にSSW2名を配置したほか、学びの森及び市役所において心理士による教育相談を月曜日から金曜日まで実施した。また、SCが週1回学校を訪問し、相談活動を実施した。	子どもを取り巻く環境は複雑化しており、不登校やこどもの発達などさまざまな問題を抱える家庭が増加傾向にあるため、SSWを増員する等、相談支援体制を強化する必要がある。

(3) 家庭教育への支援

昨年度実施結果	課題
広報みよし及び子育て支援アプリみよびよに隔月で家庭教育向上に繋がる情報を発信して実情に合った家庭教育のあり方を示し、保護者の学びを支援する。	広報みよし及び子育て支援アプリみよびよ以外の有効な情報発信手段の検討をする必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	家庭・地域・学校が連携して家庭教育を進めていくための体制を整備するため、PTA活動の支援や教育相談窓口の充実及び家庭教育に関する講座の実施支援などを行い、様々な方向から家庭教育の推進を図っていく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう			
取組分野	3	地域で子育てを支える環境			
施策主管部局	こども未来部				
担当課	こども政策課		保育課	学校教育課	

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
地域で子育てを支える環境に関する取り組みの市民満足度割合	79.8%	84.9%	79%	81%	83%	85%	87%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 地域でのこどもの居場所づくり

昨年度実施結果	課題
児童館(13館)及び集会所内児童厚生施設(12館)を設置し、児童が安心して遊ぶことができる場を提供した。各施設に児童厚生員を配置し、児童館等行事を通じ、地域児童の健全育成を図った。	施設の老朽化や人員確保に苦慮している。

(2) 放課後児童クラブの環境整備

昨年度実施結果	課題
8児童クラブにおいて民間委託にて、1年生から6年生を対象に開所した。待機児童対策として、定員に余裕のあるクラブへ児童をタクシーで移送する事業を行った。	待機児童の解消とともに、すべての児童が自分の通う小学校の児童クラブへ通所することができるよう、受入体制を整える必要がある。

(3) ファミリー・サポート・センター事業の充実

昨年度実施結果	課題
コロナ禍を機に減少した登録会員数を増加させるため、減少した原因や増加させるための要員を分析するためアンケート実施し、結果を反映したチラシを作成した。	作成したチラシを基に、子育てに協力したいと思っている人たちへ勧誘し、制度の周知を図るとともに、子育ての手助けをしてほしい人と手助けをしてくれる人とを結びつける支援の輪をつくる。

(4) 子ども会活動の支援

昨年度実施結果	課題
子ども会12団体、子育てクラブ11団体及びジュニアリーダークラブへ補助金を交付した。また、子ども会育成連絡協議会の運営に対して補助金を交付し、地区子ども会活動を助長した。	地域での団体役員の担い手が少なくなっている。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	地域で子育てを支える環境に関する取り組みの市民満足度がさらに高まるよう、各種の地域で子育てを支える環境に関する取り組みを着実に取り組んでいく。